

課目名	衛生管理Ⅱ						
課目名(英)	Public health & hygiene management Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	60時間	担当者	竹原直道・相良 献		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	大学院にて研究する傍ら、歯科医師として訪問診療等の歯科業務に従事。		
対象学科・学年	美容科 2年						
授業概要	美容現場の中核として存在する美容師は、公衆衛生並びに環境衛生の知識が必要である。また職務上、日常的に利用者との身体的接触が避けがたい局面に遭遇する。当然美容師自身が利用者より予期せぬ感染症に感染する危険にさらされる可能性とともに、自らが感染症を利用者へ感染させる媒体となる可能性も想定される。このような危険性が常に存在する以上、美容師には感染症ならび感染症の予防と衛生管理に資する、充分で確実な知識並びに消毒を実践する能力が求められることは当然である。この授業では、他の科目とリンクしながら必要な衛生管理の知識と実技の習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標(到達目標)	目標						
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	美容業に関連する感染症の知識を知ったうえで、その感染症の危険性を指摘することができる。	
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	代表的な感染症やその症状を知ったうえで、その感染症の感染経路や病原体を説明することができる。	
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	感染症予防の3原則について、その対策を3つ以上列挙し、説明することができる。	
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	消毒法の種類を列挙し、それぞれの利点、欠点をあげ、説明することができる。	
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	消毒薬の希釈について、机上計算とシミュレーションをすることが出来る。		
テキスト・教材参考図書	関係法規・制度教科書 過去問演習						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	感染症発見の歴史、感染症と法律、感染症の法律上の分類			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	病原体の身体への侵入・媒介経路による分類			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	病原体別による分類			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	微生物の種類、微生物の形と大きさ、微生物の構造、微生物の増殖と環境の影響			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	微生物の病原性と人体の感受性、汚染、感染及び発病			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	常在細菌叢、免疫と予防接種、感染症発症の要因			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	感染症予防の3原則			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	感染症総論の練習問題			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	空気・飛沫を介して感染する感染症。結核等			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	飲食物を介して感染する感染症・血液を介して感染する感染症			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	動物・節足動物を介して感染する感染症			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	具体的な対策の例			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	感染症に関する練習問題(1)			教科書全体に目を通しておくこと		
	14	感染症に関する練習問題(2)			教科書全体に目を通しておくこと		
	15	感染症に関する練習問題(3)			教科書全体に目を通しておくこと		
	16	消毒とは・消毒の意義・消毒に関連のある法の規定			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17	消毒を怠った場合の危険性と美容師の責任・消毒法の種類・消毒に必要な条件・微生物の抵抗力			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	18	理学的消毒法(竹原・相良)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19	化学的消毒法・アルコール・次亜塩素酸ナトリウム・界面活性剤			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	20	化学的消毒法・グルコン酸クロルヘキシジン・その他			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21	すぐれた消毒法とその実施上の注意			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	22	消毒法総論の練習問題			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23	消毒法実習・各種消毒薬・器具の使い方・常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	24	消毒薬希釈法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	25	美容所の消毒の実際			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	26	美容所における衛生管理要領			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	27	消毒と自首管理体制・自主管理点検表			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	28	消毒法に関する練習問題(1)			教科書全体に目を通しておくこと		
	29	消毒法に関する練習問題(2)			教科書全体に目を通しておくこと		
	30	消毒法に関する練習問題(3)			教科書全体に目を通しておくこと		
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する (2) 授業態度は、出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	授業態度		○				20%
履修上の注意	特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。						

課目名	保健Ⅱ						
課目名(英)	health cosmetologyⅡ						
単位数	2単位	時間数	60時間	担当者	山口薫		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	2018年保健教員資格取得		
対象学科・学年	美容科2年						
授業概要	年度末の国家試験の合格を目標とし、美容保健の知識が美容の仕事に、また、個人の健康管理に生かされるように学習する。また、美容師として知っておくべき解剖学に関する基礎知識、現場で役立つ知識を知ることが目標とする。 前期では人体の機能を中心に学び、美容師として社会貢献できるように国家試験合格を目指し学習をする。 後期では皮膚科学に関する事を中心に学習をしていく。						
授業形式	講義： <input type="radio"/>	演習： <input type="radio"/>	実習： <input type="radio"/>	実技： <input type="radio"/>	※ 主たる方法： <input type="radio"/> その他： <input type="checkbox"/>		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	美容技術に関係する人体組織について説明ができる。	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	業務を効果的に行うための、皮膚、毛髪などに関する知識の説明ができる。	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	「人体の構造と機能」及び「皮膚科学」について口頭で質問した事に答える事ができる。	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	美容業に関する保健の問題に対して、正しく回答が出来るようになる。	
テキスト・教材 参考図書	日本理美容教育センター 保健教科書 配布プリント・筆記用具						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	1編1章 頭部の体表解剖学					
	2	1編1章 顔部、頸部の体表解剖学			予習・復習・プリントの整理		
	3	1編2章 骨格器系 …骨の種類と構造			予習・復習・プリントの整理		
	4	1編2章 骨格器系 …骨髄について			予習・復習・プリントの整理		
	5	1編3章 筋系 …頭部の筋			予習・復習・プリントの整理		
	6	1編3章 筋系 …上肢と下肢の筋			予習・復習・プリントの整理		
	7	1編4章 神経系…脳について			予習・復習・プリントの整理		
	8	1編4章 神経系…脊髄について			予習・復習・プリントの整理		
	9	1編5章 感覚器系 …五感について			予習・復習・プリントの整理		
	10	1編5章 感覚器系 …神経系の保健			予習・復習・プリントの整理		
	11	1編6章 血液・循環器系 …心臓について			予習・復習・プリントの整理		
	12	1編6章 血液・循環器系 …血管について			予習・復習・プリントの整理		
	13	1編6章 血液・循環器系…まとめ			予習・復習・プリントの整理		
	14	1編7章 呼吸器系/1編8章 消化器系			予習・復習・プリントの整理		
	15	1編7章 呼吸器系/1編8章 消化器系…消化腺 酵素			予習・復習・プリントの整理		
	16	2編1章 皮膚の構造…皮膚			予習・復習・プリントの整理		
	17	2編1章 皮膚の構造…皮下組織・細胞			予習・復習・プリントの整理		
	18	2編2章 皮膚付属器官の構造…脂腺について			予習・復習・プリントの整理		
	19	2編2章 皮膚付属器官の構造…汗腺について			予習・復習・プリントの整理		
	20	2編3章 皮膚の循環系・神経系 …保護作用 外的刺激			予習・復習・プリントの整理		
	21	2編3章 皮膚の循環系・神経系 …免疫・解毒・排除作用			予習・復習・プリントの整理		
	22	2編4章 皮膚の生理機能…皮膚の再生作用			予習・復習・プリントの整理		
	23	2編4章 皮膚の生理機能…皮膚の生理機能			予習・復習・プリントの整理		
	24	2編5章 皮膚の保健…皮膚の状態について			予習・復習・プリントの整理		
	25	2編5章 皮膚の保健…アルカリ中和機能について			予習・復習・プリントの整理		
	26	2編6章 皮膚の疾患…一次性刺激物によるカブレ			予習・復習・プリントの整理		
	27	2編6章 皮膚の疾患…菌による疾患			予習・復習・プリントの整理		
	28	国家試験に向けて…1編1章 頭部の体表解剖学～1編5章 感覚器系			予習・復習・プリントの整理		
	29	国家試験に向けて…1編6章 血液・循環器系～1編7章 呼吸器系			予習・復習・プリントの整理		
	30	国家試験に向けて…2編1章 皮膚の構造～2編6章 皮膚の疾患			予習・復習・プリントの整理		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		<input type="radio"/>				80%
	小テスト	<input type="radio"/>					20%
履修上の注意	小テストにて平常点を加算する。毎講義においてプリントを配布するため、それらを保管できるファイル(フラットファイル形式が理想)を購入し、必ずプリントの整理を行っておくこと。また、出席が12回未満の学生は定期試験を受験できない。(補講終了の場合は除く)						

課目名	文化論Ⅱ						
課目名(英)	Theory of Barber and Beauty cultureⅡ						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	遠藤 広美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	2017年文化論教員資格取得		
対象学科・学年	美容科2年						
授業概要	人の歴史の最古から、美容がかかわってきたことを学ぶことは、今を知るためにとても重要である。歴史の中で創り上げられてきた「美しさ」があり、現代のものとの融合することで新しいスタイルを生み出すことが出来る。文化論の中にはデザインを発想する為のヒントや、創造の幅を広げるエッセンスが多く存在する。文化を知り学び、知識を得ることにより、お客様が求める美しさを的確に理解し、幅広いスタイル提供が出来る、即戦力に繋がる社会人をを目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					日本、西洋のファッションの文化史における文化の流れを理解し説明することができる。	
	○					日本のファッションにおける、髪型、メイクを説明することができる。	
	○					礼装の種類を理解し、歴史を説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本理容美容教育センター 文化論教科書						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 総論				教科書を使い、予習復習を行う。	
	2	第2章 日本の理容業・美容業の歴史				教科書を使い、予習復習を行う。	
	3	第3章ファッション文化史(日本編) 縄文・弥生・古墳時代・古代				教科書を使い、予習復習を行う。	
	4	第3章ファッション文化史(日本編) 中世・近世Ⅰ、Ⅱ・近代				教科書を使い、予習復習を行う。	
	5	第3章ファッション文化史(日本編) 現代Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ				教科書を使い、予習復習を行う。	
	6	まとめ①(第1章～第3章 復習、小テスト①実施)				教科書、小テストを使い復習をする事。	
	7	前期末試験、回答・解説				教科書、予習をする事。	
	8	第4章ファッション文化史(西洋編) 古代エジプト～近代Ⅰ				教科書を使い、予習復習を行う。	
	9	第4章ファッション文化史(西洋編) 近代Ⅱ～現代Ⅶ				教科書を使い、予習復習を行う。	
	10	まとめ②(第4章 復習、小テスト②実施)				教科書、小テストを使い復習をする事。	
	11	第5章礼装の種類 和装の礼装・洋装の礼装				教科書を使い、予習復習を行う。	
	12	まとめ③(第4章 復習、小テスト③実施)				教科書、小テストを使い復習をする事。	
	13	まとめ④(国家試験対策)				対策プリントを使い、予習・復習を行う。	
	14	まとめ⑤(国家試験対策)				対策プリントを使い、予習・復習を行う。	
15	後期末試験、回答解説、国家試験対策				対策プリントを使い、復習を行う。		
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。態度・意欲は、出席・授業中の居眠りの回数などで評価する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					80%
	小テスト	◎					10%
	宿題・レポート	○					5%
	授業態度				○		5%
履修上の注意	特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。						

科目名	美容技術理論 II						
科目名(英)	beauty theory II						
単位数	3単位	時間数	90時間	担当者	西依 優・吉田 由花子		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務		
対象学科・学年	美容科2年生						
授業概要	美容師資格を取得し一人前の技術者になるため美容の基礎的な理論と技術を学ぶ事を目的とする。学年末にある国家試験に向けた指導と業界の求める美容師として理解しておかなければならない基礎知識を徹底して学習していく。国家試験に向けた4択問題を中心に出題解答し試験にしっかりと慣れたい。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標	目標					
	○	知識	理解	技能	態度	その他	
	○	エステティックにおける皮膚の生理と構造を踏まえてフェイシャルケア技術、ボディケア技術の説明ができる。					
	○	爪の構造と機能、カット形状、公衆衛生を踏まえ、ネイル技術の種類を挙げてその説明ができる。					
	○	メイクアップのメイクアップからブラッシュアップまでの手順を説明出来る。					
	○	まつ毛エクステーションの手順と注意事項を述べることができる。					
	○	日本髪の種類、特徴、道具について関係づけることができる。					
○	着物の種類を挙げ、適切な道具を使用した着付けの技術を説明出来る。						
○	美容技術理論の国家試験対策問題で60%以上正解できる。						
テキスト・教材 参考図書	日本理美容教育センター 美容技術理論教科書 プリント・ノート・筆記用具						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	8章 エステティック - エステティック概論・皮膚の生理と構造・カウゼリング・美容におけるマナー理論			予習・復習・プリントの整理		
	2	8章 エステティック - フェイシャルケア技術・フェイシャル及びデコルタージュ・フェイシャルハック・ボディケア技術・ボディマサージ			予習・復習・プリントの整理		
	3	9章 ネイル技術 - ネイル技術概論・ネイル技術の種類・爪の構造と機能・爪のカット形状			予習・復習・プリントの整理		
	4	9章 ネイル技術 - ネイル技術と公衆衛生・カウゼリング・ネイルケア・アートのフェイシャルネイル・手足のマッサージ			予習・復習・プリントの整理		
	5	10章 メイクアップ - メイクアップ概論・顔の形態学的観察・メイクアップと色彩・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具			予習・復習・プリントの整理		
	6	10章 メイクアップ - スキンケア・ヘアメイクアップ・メイクアップ・アイロウメイクアップ・リップメイクアップ			予習・復習・プリントの整理		
	7	10章 メイクアップ - ブラッシュアップ・まつ毛エクステーション			予習・復習・プリントの整理		
	8	8章～10章 小テスト①			予習・復習・プリントの整理		
	9	11章 日本髪 - 日本髪の特徴・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和			予習・復習・プリントの整理		
	10	11章 日本髪 - 日本髪の手入れ・かつら			予習・復習・プリントの整理		
	11	12章 着付けの理論と技術 - 着付けの目的・礼装・着物の季節・着物のいろいろ・帯・小物			予習・復習・プリントの整理		
	12	12章 着付けの理論と技術 - 着物各部の名称・着物のたたみ方・着付けの一般的要領・留袖着付け技術・振り袖着付け技術・帯締め・帯揚げの結び方			予習・復習・プリントの整理		
	13	12章 着付けの理論と技術 - 男子礼装羽織・袴着付け技術・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・増礼着付けの際の注意事項・和装花嫁・洋装花嫁			予習・復習・プリントの整理		
	14	11章～12章 小テスト②			予習・復習・プリントの整理		
	15	2章 - シャンプーイングの目的と種類と特徴・選び方のポイントを知る			予習・復習・プリントの整理		
	16	2章 - スキャルブトリートメントの目的・スキャルブトリートメントの種類と特徴のポイントをj知る			予習・復習・プリントの整理		
	17	1章 - コーム・ブラシ・シザーズの名称・選定法・手入れ法・種類			予習・復習・プリントの整理		
	18	1章 - レーザー・アイロン・ドライヤー・スチーマー・遠赤外線機・その他の道具の名称・選定法・手入れ法・目的を知る			予習・復習・プリントの整理		
	19	2章 - リンス、コンディショナー、トリートメントの違い、役割、成分選び方			予習・復習・プリントの整理		
	20	序章・1章・2章 国家試験過去問題演習			予習・復習・プリントの整理		
	21	4章 - ベーシックなカット技法・ワンレングスカット・グラデーションカット・レイヤーカット・セムレングスカットのポイントをj知る			予習・復習・プリントの整理		
	22	4章 - ヘアカットとは シザーズとレーザーの扱い方・ヘアカットングの正しい姿勢のポイントをj知る			予習・復習・プリントの整理		
	23	4章 - シザーズ・レーザーによるカット技法のポイントをj知る			予習・復習・プリントの整理		
	24	4章 国家試験過去問題演習			予習・復習・プリントの整理		
	25	5章 - パーマネットウェーブの歴史と現在 パーマネットウェーブの理論と実際のポイントをj知る			予習・復習・プリントの整理		
	26	5章 - パーマネットウェーブ用剤の種類・パーマネットウェーブ用剤に関する注意事項のポイントをj知る			予習・復習・プリントの整理		
	27	5章 - パーマネットウェーブの実際・パーマネットアラカルのポイントをj知る			予習・復習・プリントの整理		
	28	5章 国家試験過去問題演習			予習・復習・プリントの整理		
	29	6章 - ヘアセッティングとは・ヘアパーティング・ヘアカーリングのポイントをj知る			予習・復習・プリントの整理		
	30	6章 - ループとウェーブの関係・カールの種類			予習・復習・プリントの整理		
	31	6章 - ヘアセッティング(ローラーカール、バックコミング、ブロードドライ、アイロンセッティング、アップスタイル)のポイントをj知る			予習・復習・プリントの整理		
	32	6章 国家試験過去問題演習			予習・復習・プリントの整理		
	33	7章 - ヘアカラーリング概論・ヘアカラーの種類をj知る			予習・復習・プリントの整理		
	34	7章 - 毛髪のアダーン～ヘアカラーリングの注意事項のポイントをj知る			予習・復習・プリントの整理		
	35	7章 国家試験過去問題演習			予習・復習・プリントの整理		
	36	3章 ヘアデザイン 問題演習			予習・復習・プリントの整理		
	37	8章・9章 国家試験過去問題演習			予習・復習・プリントの整理		
	38	10章 国家試験過去問題演習			予習・復習・プリントの整理		
	39	11章・12章 国家試験過去問題演習			予習・復習・プリントの整理		
	40	国家試験に備えて復習(対策問題演習・過去問題演習)			予習・復習・プリントの整理		
	41	国家試験に備えて復習(対策問題演習・過去問題演習)			予習・復習・プリントの整理		
	42	国家試験に備えて復習(対策問題演習・過去問題演習)			予習・復習・プリントの整理		
	43	国家試験に備えて復習(対策問題演習・過去問題演習)			予習・復習・プリントの整理		
	44	国家試験に備えて復習(対策問題演習・過去問題演習)			予習・復習・プリントの整理		
45	国家試験に備えて復習(対策問題演習・過去問題演習)			予習・復習・プリントの整理			
評価方法	(1)授業の中で小テストを●回実施する。(2)ファイル提出を実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。(4)授業態度は授業中の発表・居眠り・私語などで評価する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				75%
	小テスト	◎	○				10%
	提出物				◎		10%
授業態度				◎		5%	
履修上の注意	毎講義においてプリントを配布するため、それらを保管できるファイル(フラットファイル形式が理想)を購入し、必ずプリントの整理を行って置くこと。また、出席が12回未満の学生は定期試験を受験できない。(補講終了の場合は除く)						

課目名	美容実習Ⅱ						
課目名(英)	Beauty TrainingⅡ						
単位数	16	時間数	480時間	担当者	西依・江藤・吉田・武田		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務		
対象学科・学年	美容科2年次						
授業概要	国家試験合格に向けて課題である美容技術の基礎(ワインディング・オールウェーブ・カット)を身に付ける。衛生面でも国家試験評価対象となっている為、衛生面も同時に身に付ける。						
授業形式	講義: △	演習: △	実習: ○	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
			○			国家試験第一課題(レイヤーカット)を身に付ける事ができる。	
			○			国家試験第二課題(オールウェーブ)を身に付ける事ができる。	
		○				頭の形を理解し正確に形として仕上げる事ができる。	
			○		道具の使用の仕方、ウィッグの使い方を丁寧に衛生面を綺麗に保つことができる。		
				○	美容師国家試験合格に向けて意欲を高く持ち、継続的に練習する事ができる。		
テキスト・教材 参考図書	日本理美容教育センター 美容技術理論 美容道具一式						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1~2	国家試験第2課題オールウェーブ(コームの使い方・ローション塗布の仕方)			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	3~7	国家試験第2課題オールウェーブ 7段構成理解			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	8~9	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	10~16	国家試験第2課題オールウェーブ 7段構成理解			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	17~20	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	21~26	国家試験第2課題オールウェーブ 7段構成理解			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	27	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	28~30	国家試験第2課題オールウェーブ 7段構成理解			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	31	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	32~40	国家試験第2課題オールウェーブ 7段構成理解			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	41~44	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	45~52	国家試験第2課題オールウェーブ 60分			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	53	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	54~59	国家試験第2課題オールウェーブ 60分			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	60	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	61~66	国家試験第2課題オールウェーブ 50分			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	67	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	68~70	国家試験第2課題オールウェーブ 50分			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	71~73	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する		
	74~110	アートビューティーコレクション準備			各自課題となっている物を持ち帰り準備に取り組む		
	111~113	国家試験第2課題オールウェーブ 40分			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う		
	114~115	国家試験第2課題ワインディング・オールウェーブ テスト			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う		
	116~117	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う		
	118~122	国家試験第2課題オールウェーブ 40分			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う		
	123~124	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う		
	125~129	国家試験第2課題オールウェーブ 30分			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う		
	130~134	国家試験第1課題レイヤーカット			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う		
	135~136	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う		
	137~141	国家試験第1課題レイヤーカット			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う		
	142~143	国家試験第2課題オールウェーブ 30分			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う		
	144~146	国家試験第2課題オールウェーブ 25分			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う		
147~148	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う			
149~151	国家試験第2課題オールウェーブ 25分			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う			
152~225	国家試験課題練習 (207~208 小テスト)			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う			
226~228	国家試験課題第1・第2 実技テスト			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う			
229~242	国家試験課題練習			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う			
評価方法	前期・後期末試験実施(実技) 課題に対するの理解度。 授業態度の評価。 成績評価基準→S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験			◎	○		70%
	小テスト			◎	○		20%
	宿題・レポート 発表・作品				◎		10%
履修上の注意							

課目名	ヘアテクニック(ヘアカット)						
課目名(英)	Hair Technique (Hair Cut)						
単位数	1単位	時間数	30時間中20時間	担当者	江藤・吉田・荒木・西依		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	サロンに美容師として勤務		
対象学科・学年	美容科 2年						
授業概要	国家試験合格に向けて課題である美容技術の基礎(レイヤーカット)を身に付ける。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			国家試験第一課題(レイヤーカット)を身に付ける事ができる。	
			○			頭の形を理解し正確に形として仕上げる事ができる。	
		○				道具の使用の仕方、ウィッグの使い方を丁寧に正しい衛生面を綺麗に保つことができる。	
テキスト・教材 参考図書	実習道具 カット道具一式						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~2	国家試験第1課題ヘアカット (コームの使い方・ブロッキングの仕方)				居残り 反復練習	
	3~4	国家試験第2課題ヘアカット (ブロッキングの仕方・切り方手順)				居残り 反復練習	
	5~6	国家試験第3課題ヘアカット (ブロッキングの仕方・切り方手順・反復練習)				居残り 反復練習	
	7~8	国家試験第4課題ヘアカット (切り方手順・反復練習・スタイルの確認)				居残り 反復練習	
	9~10	国家試験第5課題ヘアカット (切り方手順・反復練習・スタイルの確認)				居残り 反復練習	
	11~12	国家試験第6課題ヘアカット (スタイルの確認・時間を意識して作業)				居残り 反復練習	
	13~14	国家試験第7課題ヘアカット (スタイルの確認・時間を意識して作業)				居残り 反復練習	
	15~16	国家試験第8課題ヘアカット (スタイルの確認・タイム追い20分)				居残り 反復練習	
	17~18	国家試験第8課題ヘアカット (スタイルの確認・タイム追い20分)				居残り 反復練習	
	19~20	国家試験第8課題ヘアカット (タイム追い20分・仕上がり審査)				居残り 反復練習	
評価方法	(1) 小テストを2回実施 (2) 課題に対する理解度。 (3) 授業態度の評価。 成績評価基準⇒S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト			◎			60%
	宿題・レポート				◎		30%
	授業態度				○		10%
履修上の注意	授業開始前に準備を整えておく。						

課目名	ビューティースキル（メイクアップ）						
課目名(英)	Makeup						
単位数	1	時間数	30時間	担当者	重松 愛子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	雑誌、広告関係、ファッションショーバックステージ現場経験		
対象学科・学年	美容科2年						
授業概要	1年生で学んだメイクアップのベーシックテクニックを基に、サロンに就職した際に必要とされる、お客様一人一人に合うイメージに沿ったメイクや、似合うメイクの提案ができる。特殊メイク、ステージメイク等のプロフェッショナルなメイクができるようになる。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			机上が清潔で、モデルの扱いが丁寧にできる。	
			○			メイクアップのデザインができる。	
			○			顔の輪郭、パーツの分析ができる。	
			○			モデルの個性に合わせたメイクの提案ができる。	
			○			応用テクニックを理解し、施す事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	メイク道具一式						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~2	1年時復習、メイクアップデザイン				シュウウエムラテキストを読んでおくこと	
	3~4	メイクアップデザイン2ーキュート、クールメイク				シュウウエムラテキストを読んでおくこと	
	5~6	メイクアップデザイン3ーエレガント、フレッシュメイク				シュウウエムラテキストを読んでおくこと	
	7~8	応用メイクーメイク提案				シュウウエムラテキストを読んでおくこと	
	9~10	ステージメイクーベースメイク、ポイントメイク				雑誌等でステージメイクを見ておくこと	
	11~12	特殊メイク				雑誌等で特殊メイクを見ておくこと	
	13~15	実技テスト				復習をしておくこと	
評価方法	(1)授業の中で実施した実技作品を確認する。(2)実技作品のデザイン画を確認する。(3)実技テストを実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト			○			70%
	作品提出			○			15%
	デザイン画提出			○			15%
履修上の注意	特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。						

課目名	デザイン(ファッション)						
課目名(英)	Fashion						
単位数	1単位	時間数	「16時間」/「30時間」	担当者	タナベアキコ		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ファッション講師歴30年OFFICE経営		
対象学科・学年	美容科2年次						
授業概要	トータル美容に必要なファッションの具体的な実践(コンテストやABC祭)を目指し。計画的で魅力的な発想、企画、演出方法を考えだすことができるように指導するとともに、豊かな表現力を身につけさせる						
授業形式	演習: ○		実習: ○	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				トレンドを常に把握し、実践に取り入れられる	
		○				ヘア、メイク、ファッショントータルに捉え、創造出来るようになる	
		○				企画、演出、構成、音楽、照明全てを連動して考える事が出来るようになる	
	○	○				顧客の特徴を素早く捉え、似合うスタイルの提案が出来るようになる	
			○			職場の具体的なディスプレイにも関心を持ち、自らディスプレイ演出が出来るようになる	
テキスト・教材 参考図書	モードエモード						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	春夏トレンドスタイル(スタイリングマップ作成)				ファッション雑誌に目を通しておく	
	2	デザインイリュージョン(デザインによる効果を知る)				ファッション雑誌に目を通しておく	
	3	ファブリックコーディネイト(素材別デザイン画作成)				課題レポート作成	
	4	ファッションショー企画、演出				課題レポート作成	
	5	ファッションショー企画、演出(企画書作成)				課題レポート作成	
	6	ファッションショー企画、演出(企画書作成)				課題レポート作成	
	7	人のイメージ(似合わせ、人の特徴をつかむ)				課題レポート作成	
	8	リピーターとディスプレイ				課題レポート作成	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品	○	○	○	○	○	100%
履修上の注意	多くのファッション雑誌や美容雑誌、映画、アニメ、美術鑑賞、広告、写真集、フラワーアレンジ、などを見て感性を高める努力をする。						

課目名	専門選択 (ヘアデザイナーコース)/ヘアカット						
課目名(英)	haredesigner course						
単位数	5単位	時間数	150時間のうち90時間	担当者	渡邊正明		
実施年度	2020年	実施時期	前期	担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務		
対象学科・学年	美容科 2年次 ヘアデザイナーコース						
授業概要	世界の人々に支持され続けている世界最高峰の技術を持つTONI&GUYの上級技術(技術理論・ファンダメンタル・プレジジョン・クラシック)を学び、頭の骨格・髪質を加味して似合わせを学習した上でディプロマ取得を目指す。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				カットに必要な展開図(スタイルの設計図)を描けるようになる。	
			○			カット&ブローを50分間で仕上げる事が出来るようになる。	
			○			必要最低限のブローの技術を身につける事が出来る。	
			○			スタイル創りに必要な質感調整やバランス取りを学習し、スタイルの幅を広げる事が出来る。	
			○			活躍の場を広げる為の知識・技術を身に付けディプロマを取得する。	
テキスト・教材 参考図書	TONI&GUY フューチャーファンデーション text カット道具一式 ブロー道具一式 TONI&GUY カットウィッグ×10台						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ファンダメンタル スクエアレイヤー カット ウィッグ配布 試験用ウィッグ選別 コース内容説明				ウィッグ1体目の準備をしておくこと	
	2	ファンダメンタル スクエアレイヤー カット スクエアカット(手順確認) ブロー展示→ブロー練習				ウィッグ1体目の準備をしておくこと	
	3	ファンダメンタル スクエアレイヤー カット スクエアカット(手順確認) ブロー展示→ブロー練習				ウィッグ2体目の準備をしておくこと	
	4	ファンダメンタル スクエアレイヤー カット スクエアカット(50分)試験				ウィッグ3体目の準備をしておくこと	
	5	プレジジョン クラシックグラデーション カット クラシックグラデーションカット展示(SbyS)				ウィッグ1体目の準備をしておくこと	
	6	プレジジョン クラシックグラデーション カット クラシックグラデーションカット(手順確認) ブ				ウィッグ2体目の準備をしておくこと	
	7	プレジジョン クラシックグラデーション カット クラシックグラデーションカット(手順確認) ブ				ウィッグ4体目の準備をしておくこと	
	8	プレジジョン クラシックグラデーション カット クラシックグラデーションカット(50分)試験				ウィッグ5体目の準備をしておくこと	
	9	クラシック ベベルカット ベベルカット展示(SbyS) 手順確認				ウィッグ5体目の準備をしておくこと	
	10	クラシック ベベルカット ベベルカット(手順確認) ブロー展示→ブロー練習 テクスチュ				ウィッグ6体目の準備をしておくこと	
	11	クラシック ベベルカット ベベルカット(手順確認) ブロー展示→ブロー練習 テクスチュ				ウィッグ7体目の準備をしておくこと	
	12	クラシック ベベルカット ベベルカット(50分)試験				ウィッグ8体目の準備をしておくこと	
	13	ファンダメンタル スクエアレイヤー プレジジョン クラシックグラデーション				今まで使用したウィッグの準備をしておくこと	
	14	ファンダメンタル スクエアレイヤー プレジジョン クラシックグラデーション				ウィッグ9体目の準備をしておくこと	
15	ファンデーションコース修了試験				ウィッグ10体目の準備をしておくこと		
評価方法	(1) 授業の中で小テストを3回実施する。 (2) 定期試験(実技試験)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト		○	○	○		60%
	小テスト		○	○			40%
履修上の注意	特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。						

課目名	専門選択 (ヘアメイクアップアーティストコース)/ヘアアレンジ/フォト						
課目名(英)	Hair make-up artist course (Hair Arrange)(photo)						
単位数	5単位	時間数	76時間/150時間	担当者	荒木 成美 吉田 由花子		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務		
対象学科・学年	美容科 2年次						
授業概要	ヘアメイクアップアーティストに必要なスタイルづくりの基本となるヘアアレンジ技術、サロンワークで提供するリアルヘア、そのクオリティを上げるためのクリエイティブワークを幅広く学び、ウィッグやモデル作品制作を実践する。また、フォトシューティングの現場を通してヘアメイクアップアーティストの職業の魅力を体感する。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
		○				デザインの構造を支える上で欠かせない"結ぶ"テクニックと"留める"テクニックを習得する	
		○				一束を使ったクリエイティブデザインを習得する	
		○				編み込みのデザインを幅広く学び、習得する	
		○				カールを使用したデザインを習得する	
		○				クリエイティブ作品を効果的に見せるカラーリングを学び、作品制作で実践する	
		○				コンテスト作品をテーマに沿って考え、自分でデザインして形にできる	
		○				フォトシューティングの現場を体感して、現場での注意点や動きなどに気づき理解する	
テキスト・教材 参考図書	UP STYLE1.2.3!						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	"結ぶ"テクニック クラウン一束からの展開			ヘアアレンジ道具の準備と手入れをしておく事		
	2	"結ぶ"テクニック クラウン一束からの展開			ヘアアレンジ道具の準備と手入れをしておく事		
	3	"結ぶ"テクニック 一束を使ったユニークなデザイン			前回までの一束テクニックの復習をしておく事		
	4	"留める"テクニック 後頭部にボリュームを出すシニヨン			前回までの一束テクニックの復習をしておく事		
	5	カールを使用したデザイン			前回までの一束テクニックの復習をしておく事		
	6	カールを使用したデザイン			前回までの一束テクニックの復習をしておく事		
	7	"結ぶ""留める"のコビネーション 一束をベースにした縦ロール&フライト			フォトシューティングモデルハントの実施とデザインの考案を進めておく事		
	8	クリエイティブウィッグ作品制作① プリーチテクニック			作品のデザインシートを完成させておく事		
	9	クリエイティブウィッグ作品制作① プリーチテクニック			作品のデザインシートを完成させておく事		
	10	クリエイティブウィッグ作品制作① カラーリング(ロコル)テクニック			作品のデザインシートを完成させておく事		
	11	小テスト1 クリエイティブウィッグ作品制作			小テストの練習をしておく事		
	12	編み込みのデザイン			フォトシューティングモデルハントの実施とデザインの考案を進めておく事		
	13	編み込みのデザイン			フォトシューティングモデルハントの実施とデザインの考案を進めておく事		
	14	編み込みのデザイン			フォトシューティングモデルハントの実施とデザインの考案を進めておく事		
	15	アンデュレートな質感をもつクリエイティブスタイル			作品のデザインシートを完成させておく事		
	16	フォトシューティング企画書作成			フォトシューティングのモデルを決定させておく事		
	17	フォトシューティング仕込み・練習 モデル来校あり			フォトシューティングの企画書を完成させておく事		
	18	フォトシューティング仕込み・練習 モデル来校あり			フォトシューティングの企画書を完成させておく事		
	19	フォトシューティング仕込み・練習 モデル来校あり			フォトシューティングの企画書を完成させておく事		
	20	フォトシューティング 仕込み・撮影アシスタント・準備			フォトシューティングスタイルの練習をしておく事		
	21	フォトシューティング 仕込み・撮影アシスタント・準備			フォトシューティングスタイルの練習をしておく事		
	22	フォトシューティング 仕込み・撮影アシスタント・準備			フォトシューティングスタイルの練習をしておく事		
	23	フォトシューティング仕込み・練習 モデル来校あり			フォトシューティングの企画書を完成させておく事		
	24	フォトシューティング仕込み・練習 モデル来校あり			フォトシューティングの企画書を完成させておく事		
	25	フォトシューティング 仕込み・撮影アシスタント・準備			フォトシューティングの企画書を完成させておく事		
	26	フォトシューティング 仕込み・撮影アシスタント・準備			フォトシューティングスタイルの練習をしておく事		
	27	フォトシューティング 仕込み・撮影アシスタント・準備			フォトシューティングスタイルの練習をしておく事		
	28	クリエイティブウィッグ②③④企画書作成			デザインの考案を進めておくこと		
	29	クリエイティブウィッグ作品制作②練習			作品のデザインシートを完成させておく事		
	30	クリエイティブウィッグ作品制作②練習			作品のデザインシートを完成させておく事		
	31	小テスト2 クリエイティブウィッグ作品制作②			小テストの練習をしておく事		
	32	クリエイティブウィッグ作品制作③			作品のデザインシートを完成させておく事		
	33	クリエイティブウィッグ作品制作③			作品のデザインシートを完成させておく事		
	34	クリエイティブウィッグ作品制作③			作品のデザインシートを完成させておく事		
	35	クリエイティブウィッグ作品制作④			作品のデザインシートを完成させておく事		
	36	クリエイティブウィッグ作品制作④			作品のデザインシートを完成させておく事		
	37	クリエイティブウィッグ作品制作④			作品のデザインシートを完成させておく事		
38	実技テスト クリエイティブウィッグ作品制作④			作品のデザインシートを完成させておく事			
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)宿題・企画書を数回実施する。(3)実技テストを実施する。(4)作品制作・発表を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		実技テスト		◎	○		40%
		小テスト		◎	○		10%
		宿題・企画書			○		10%
		発表・作品		◎	○		40%
履修上の注意							

課目名	専門選択(ヘアメイクアップアーティストコース)/メイクアップ/フォト						
課目名(英)	Hair make-up artist course (make up)						
単位数	5単位	時間数	30	担当者	重松愛子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	雑誌、広告関係、ファッションショーバックステージ現場経験		
対象学科・学年	美容科 2年次						
授業概要	①撮影の為のメイクアップスキルを身に付け、テクニックの幅を広げ、就職後の即戦力とする。また結婚式や成人式などの記念日での写真撮影の仕込みが出来るメイクアップスキルを学び身に付ける。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			撮影時の当日の流れを組み立て、スケジュールリング管理ができるノウハウを習得する	
			○			質感の調整やシーンに合わせた撮影のメイクアップを習得する。	
			○	△		実技中の所作や道具の取り扱いに注意を払うことが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	①The Art of Makeup/Kevyn Aucoin ②ヘアモード ③ Style ④TONI&GUY、などの美容雑誌						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・2	フォトシューティングとは メイクアップのポイント。ベースメイクアップの大切さ。 ①ベースメイクアップ順序 ②コンシーラーテクニック				準備物:メイク道具一式	
	3・4	コントロールカラーとコンシーラーテクニック。照明(ライト&自然光)による肌の質感。マット&光沢の差 ①ファンデーションをブラシで塗布する ②パウダーをブラシで付ける				準備物:メイク道具一式	
	5・6	<ポイントメイクアップ> アイシャドー&ブラックライナー(インサイドライン)&マスカラ				準備物:メイク道具一式	
	7・8	<ポイントメイクアップ> チーク&リップ 肌の色とチークカラー、リップカラーセレクトの仕方 メイクアップ方法				準備物:メイク道具一式	
	9・10	美容雑誌の中から、作品をピックアップしてタッチアップする。実際、自然光&スマートフォンで撮影する。				準備物:メイク道具一式	
	11・12	ブロンザーとシェーディングの違い。 ・ ①ブロンザーで日焼け肌を作る。 ②シェーディングで小顔に見せる。 ハイライトによるコントラストでメリハリをつける。				準備物:メイク道具一式	
	13・15	実技試験:①作品制作・・・企画書作成～タッチアップ。 ～ 作品撮り～チェック&修正 ※クオリティー重視 10.(3コマ)相モデル 実技試験 制作時間50分				準備物:メイク道具一式	
	評価方法	(1)授業の中で実技テストを実施する。(2)作品制作の完成度による。(3)所作・道具の手入れなど実技テストの際にテスト項目とする。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
実技テスト				◎			50%
発表・作品				○			40%
所作・道具の手入れ				○			10%
履修上の注意	出席が4/5に満たない場合は実技試験の受験資格を与えない。						

課目名	専門選択 (ヘアメイクアップアーティストコース)/エアブラシ						
課目名(英)	Hair make-up artist course (airbrush)						
単位数	5単位	時間数	150時間のうち24時間	担当者	重松愛子		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	雑誌、広告関係、ファッションショーバックステージ現場経験		
対象学科・学年	美容科 2年次						
授業概要	皮膚知識と化粧品学を熟知し、テクニックと機器の取り扱い～メンテナンス(部品解体～組み立てまで)を習得する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			ハンドピースの基本操作を習得する	
			○			カラーチェンジのカップ操作がスムーズにできる	
			○			ステンシルを用い、ポイントメイクアップが施せるようになる	
		△	○			用具の名称を理解し、メンテナンスが出来るようになる(解体から～組み立てまで)	
		○				肌(スキンタイプ)と化粧品について理解し、知識を深める	
	○					エアブラシメイクテクニック～メリットを学び、知識を深める	
テキスト・教材 参考図書	HALLYWOOD AIR Airbrush Makeup Basic Textbook for School Partner						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・2	エアブラシ①②教材説明。教材確認。教科書P1～P7ハリウッドエアの特徴、エアブラシメイクアップのメリット、メイクアップアーティストとしての心構え(筆記試験対策)練習用ペーパー使用・・・様々な形にエアブラシで塗ってみる・カラーチェンジのカップ操作 教科書P8～10 エアブラシの使い方 ①持ち方 ②エアのコントロール ③距離によるコントロール ④洗浄 (筆記試験対策)				事前にエアブラシの特徴を読んでおくこと 筆記試験範囲の復習 道具忘れに注意(特に教科書)	
	3・4	エアブラシ③④練習用ペーパー使用・・・様々な形にエアブラシで塗ってみる・カラーチェンジのカップ操作 教科書P8～10 エアブラシの使い方 ①持ち方 ②エアのコントロール ③距離によるコントロール ④洗浄				筆記試験範囲の復習 道具忘れに注意(特に教科書)	
	5・6	エアブラシ⑤⑥スキンドール使用&相モデル 前回までの復習。教科書P19～25 カラーmixのカップチェンジの練習。 ファンデーション～チークまで (筆記試験対策)				筆記試験範囲の復習 道具忘れに注意(特に教科書)	
	7・8	エアブラシ⑦⑧ 教科書P26～28 ステンシルの使い方 ①アイブロー(カラーmixの比率によるカラーバリエーション ステンシルでアイブローを作る。(筆記試験対策)				筆記試験範囲の復習 道具忘れに注意(特に教科書)	
	9・10	エアブラシ⑨⑩ 教科書P29～31 アイシャドー&リップ エアブラシでアイシャドーとリップを作る。 フルメイクアップ モデルに似合うメイクアップを施す。(筆記試験対策)				筆記試験範囲の復習 道具忘れに注意(特に教科書)	
	11・12	エアブラシ⑪⑫ ディプロマ取得本試験(相モデル) ・筆記試験50分 実技試験50分 合格の場合:ディプロマ授与 不合格の場合:再試				筆記試験範囲の復習 体調管理に気を付ける	
評価方法	(1)授業の中で実技テスト・筆記テストを実施しディプロマを取得する。(2)作品の完成度が高いこと。(3)所作を丁寧に心掛け道具の手入れなど積極的に取り組んでいること。以上を下記の観点・割合で評価する。 S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		実技テスト			◎		50%
		筆記テスト		○			35%
		宿題・レポート					
		発表・作品			○		10%
		授業態度					
	所作・道具の手入れ			○		5%	
履修上の注意	出席が4/5に満たない場合は実技試験の受験資格を与えない。						

課目名	専門選択（ヘアメイクアップアーティストコース）/スタイリングマップ						
課目名(英)	Hair make-up artist course Styling Map						
単位数	5単位	時間数	「10時間」/「150時間」	担当者	伊藤久美子		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	ブライダルヘアメイク・講師 StylingMap認定講師		
対象学科・学年	美容科2年生						
授業概要	美容業界ではパーソナル(その人の個人に向けた)スタイリング提案がサービスの差別化の中心となっています。そのパーソナルに向けたスタイリング＝完成の提案を論理に基づきお客様だけでなくスタッフ同士での共通言語となるStylingMapを学びます。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					StylingMapの理論を説明することができる。	
		○				スタイリングのカウンセリング力を高め、実践することができる。	
		○				スタイリング提案の基礎を学び、説明することができる。	
				○		スタイリングを言語で伝えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	Styling Map検定テキスト、筆記道具、ハサミ、シャドウパレット、専用ウィッグ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Styling Mapとは？、各種解説、セルフチェック、テスト確認				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	物の色(分析、解説、ワーク)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	3	人の色(分析、解説、分析目視グループワーク)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	ウィッグデモンストレーション				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5	物の形(分析、解説、ヘアメイクワーク)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	人の形(分析、解説、分析目視グループワーク)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	物の素材(分析、解説、ヘアメイクワーク)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	人の素材(分析、解説、分析目視グループワーク)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9	総復習及び検定対策				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	10	筆記テスト				筆記テストを実施するので、復習しておくこと	
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。(4)授業への参加状況(グループワーク発言、提出、居眠り、忘れ物)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記テスト	◎	◎				60%
	小テスト	◎	○				10%
	発表・作品		○		◎		20%
	宿題・レポート	○			◎		10%
履修上の注意	授業内でのワークはノーメイク、カラコンを外すことがあります。						

課目名	専門選択 (ブライダルスタイリストコース)/ブライダルセット						
課目名(英)	bridal stylist course (bridal set)						
単位数	5単位	時間数	32時間/150時間	担当者	中川 佳代子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	美容師歴20年		
対象学科・学年	美容科 2年生						
授業概要	美容師として、サロンワークとは異なるブライダルのヘアセット、ヘアチェンジ技術習得を目指す。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			スタイルに合わせた道具を選択して、正しく使用することができる。	
		○	○			スタイルを正確に再現することができる。	
		○	○			イメージに合わせたスタイル作り(トータルコーディネート)ができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本理美容教育センター 美容技術理論						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1年次ヘアアレンジの復習 - 束結び、編み込み(表・裏)、ローブ編み				前回の授業の復習をしておくこと	
	2	1年次ヘアアレンジの復習 - ピンの止め方、カールアイロンの使い方、フォワード・リバースの巻き方				前回の授業の復習をしておくこと	
	3	1年次ヘアアレンジの復習 - ストレートアイロンの使い方、波ウェーブの巻き方、簡単ヘアアレンジ				前回の授業の復習をしておくこと	
	4	シニヨンの作り方 - ホットカーラーの巻き方、たぼ毛の作り方、たぼ毛を使用したシニヨンの作り方				前回の授業の復習をしておくこと	
	5	シニヨンの作り方 - 逆毛の立て方、ホットカーラー・カールアイロンを使用したシニヨンの作り方				前回の授業の復習をしておくこと	
	6	シニヨンの作り方 - スクリューでのシニヨンの作り方、簡単ヘアアレンジ				前回の授業の復習をしておくこと	
	7	夜会巻き - たぼ毛の作り方、夜会巻きの作り方				前回の授業の復習をしておくこと	
	8	夜会巻き - 夜会巻きを使用したヘアアレンジ				前回の授業の復習をしておくこと	
	9	スタイル作り - スタイルを提示してのアレンジレッスン				前回の授業の復習をしておくこと	
	10	スタイル作り - スタイルを提示してのアレンジレッスン				前回の授業の復習をしておくこと	
	11	スタイル作り - イメージに合わせてのアレンジレッスン				前回の授業の復習をしておくこと	
	12	スタイル作り - イメージに合わせてのアレンジレッスン				前回の授業の復習をしておくこと	
	13	ヘアアレンジ実技テスト				実技テストのスタイルを練習しておくこと	
	14	撮影スタイル作り - グループ作り、ドレス選び、グループ打ち合わせ				前回の授業の復習をしておくこと	
	15	撮影スタイル作り - グループでのヘア、メイクレッスン				前回の授業の復習をしておくこと	
16	ヘア&メイク撮影本番				撮影スタイル、メイクを練習しておくこと		
評価方法	①授業中で実技テストを実施する。②毎時間ごとの作品作りを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品		○	○	◎		50%
	実技テスト		○	○	◎		50%
履修上の注意							

課目名	専門選択（ブライダルスタイリストコース）/ブライダルメイク						
課目名(英)	Bridal stylist course (Bridal make)						
単位数	5単位	時間数	30	担当者	重松 愛子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	雑誌、広告関係、ファッションショー バックステージ、ブライダル現場経験		
対象学科・学年	美容科 2年						
授業概要	ブライダル業界の知識やホテルや結婚式場の知識、ドレスや着物の知識など、より専門的に学ぶ。また、結婚式のタイムスケジュールの把握・高い接客力も求められる為、メイク技術の他、業界知識なども取り入れながら 実践的に学び知識習得することを目標とする。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			決められた時間内にフルメイクを仕上げることができる。	
			○			10分以内で衣装チェンジに合わせたポイントメイクチェンジができる。	
	○					ブライダルメイクカフンゼリングにおいてピアリングが必要な事項を5つ以上述べることができる	
テキスト・教材 参考図書	・日本理美容教育センター 美容技術理論2 ・日本理美容教育センター 美容実習2 ・リクルートホールディングス 月刊ゼクシィ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ウェディングドレスメイクのデモンストレーション ーブライダルメイクと一般的なメイクの違い				ウェディング雑誌(参考書)チェック	
	2	ウェディングドレスメイク相モデル実習 ブライダルメイクの特徴を取り入れ仕上げ				ウェディング雑誌(参考書)チェック	
	3	ウェディングドレスメイク相モデル実習 ブライダルメイクの特徴を取り入れ仕上げ				ウェディング雑誌(参考書)チェック	
	4	ウェディングドレスメイク相モデル実習 首周り、耳たぶ、デコルテ、腕などの処理含む				ウェディング雑誌(参考書)チェック	
	5	ウェディングドレスメイク相モデル実習 首周り、耳たぶ、デコルテ、腕などの処理含む				ウェディング雑誌(参考書)チェック	
	6	ウェディングドレスメイク 実技テスト①				実技テストを実施するため授業内容の復習	
	7	ウェディングドレスメイク 実技テスト②				実技テストを実施するため授業内容の復習	
	8	カクテルドレスメイクのデモンストレーション ーウェディングメイクとカクテルメイクの違い				ウェディング雑誌(参考書)チェック	
	9	カクテルドレスメイク相モデル実習 ーウェディングメイクポイントメイクチェンジの方法				ウェディング雑誌(参考書)チェック	
	10	カクテルドレスメイク相モデル実習 ーウェディングメイクポイントメイクチェンジの方法				ウェディング雑誌(参考書)チェック	
	11	カクテルドレスメイク相モデル実習 ーウェディングメイクポイントメイクチェンジの方法				ウェディング雑誌(参考書)チェック	
	12	カクテルドレスメイク相モデル実習 ーウェディングメイクポイントメイクチェンジの方法				ウェディング雑誌(参考書)チェック	
	13	ウェディングドレスメイクーカクテルドレスメイク 実技テスト③				実技テストを実施するため授業内容の復習	
	14	ウェディングドレスメイクーカクテルドレスメイク 実技テスト④				実技テストを実施するため授業内容の復習	
15	ブライダルヘア・メイク作品制作 ー自由制作				作品制作についての準備		
評価方法	(1)授業の中で実技テスト2回実施。(2)ヘアメイク作品制作。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上) D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト			◎			50%
	発表・作品			◎			50%
履修上の注意	特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。						

課目名	専門選択 (ブライダルスタイリストコース)/ネイル						
課目名(英)	Bridal stylist (nail)						
単位数	5単位	時間数	「26時間」/「150時間」	担当者	林 理沙		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	ネイルサロンにてネイリストとして勤務		
対象学科・学年	美容科2年						
授業概要	ジェルネイル全般を学び、サロンワークに必要な専門知識、技術の習得に加えジェルネイル検定初級を目指す。(任意)ジェルネイル検定とはNPO法人日本ネイリスト協会がお客様に安心して施術を受けて頂けるよう健全なジェルネイルの普及を目的に実施している試験である。また、サロンワークに必要な時短アートや持ちのよいテクニックを学びトータルビューティーで「美」と向き合っていく。この授業ではジェルネイルの特質と正しい知識の習得、ケアの必要性を理解し、幅広いアートを時間内に施す事を目指す。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ジェルを施す前提にケアの必要性和手順を説明し、実施できる。	
	○	○	○			ジェルの特性や留意点を5つ以上説明できる。	
		○	○			お客様のカウンセリング後、時間を意識した施術ができる	
		○	○			デザイン画を作成し、時間内に作品を仕上げる	
テキスト・教材 参考図書	JNAテクニカルシステムベーシック JNAテクニカルシステム ジェルネイル編 JNAネイティブル						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス提示、教材説明、ラベル貼り、テーブルセッティング、ファイル面取り、スティック削り ワンカラー塗り			スティック削りが時間内に終わらない場合は宿題		
	2	ワンカラー ラメグラデーション トップジェル(厚み、ツヤ、ハイポイント) 用具 用材説明 オフ			前回の授業の復習をしておくこと		
	3	前回の復習 プレパレーションの重要性 ラメグラデーション 縦グラデーション			前回の授業の復習をしておくこと		
	4	アート(フレンチ・タイダイ)デモ、実践 トップジェル(ハイポイント、凹凸)			前回の授業の復習をしておくこと		
	5	前回復習、アート(パブル・お花)デモ、実践			前回の授業の復習をしておくこと		
	6	前回復習、アート(お花パターン)デモ、実践			前回の授業の復習をしておくこと		
	7	小テスト(プレパ、1カラー、フレンチ、グラデーション、オフ)			前回の授業の復習をしておくこと		
	8	前回復習、アート(チェック・結晶・ツイード)デモ、実践			前回の授業の復習をしておくこと		
	9	ジェル理論と検定説明			前回の授業の復習をしておくこと		
	10	相モデルでデザインを実践			前回の授業の復習をしておくこと		
	11	相モデルでデザインを実践			前回の授業の復習をしておくこと		
	12	実技試験 相モデルで1カラー、お花デザイン、オフ)			前回の授業の復習をしておくこと		
	13	作品作成(テーマ:ブライダル・ニュアンス)			前回の授業の復習をしておくこと		
	評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)宿題・レポートを実施する。(3)定期試験(実技)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		○		○			50%
小テスト		○	○	○			40%
宿題・レポート				○			10%
発表・作品							
履修上の注意	授業では自爪に戻しておくこと ネイルチップ、両面テープを準備しておくこと						

課目名	専門選択（ブライダリストコース）/着付け						
課目名(英)	bridal stylist course						
単位数	5単位	時間数	24時間/「150時間	担当者	中川 佳代子		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	美容師歴20年		
対象学科・学年	美容科 2年生						
授業概要	美容師として、サロンワークとは異なるブライダル着付け技術習得を目指す。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○	○			体型に合わせた、補正を行うことができる	
		○	○			振袖の着付け、帯結びができる	
		○	○			モデルの雰囲気合わせたトータルコーディネートができる	
テキスト・教材 参考図書	日本理美容教育センター 美容技術理論Ⅱ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	補正と着付準備 - 補正道具の作り方、着付けに必要な道具の名称と準備				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	補正と着付準備 - 着付準備の仕方、補正の仕方、長襦袢の着付け				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	補正と着付準備 - 長襦袢・着物のたたみ方、片付け方				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	振袖着付け - 長襦袢の着付け復習、振袖着付け				前回の授業の復習をしておくこと	
	5	振袖着付け - 振袖着付け、長襦袢・着物のたたみ方、片付け方復習				前回の授業の復習をしておくこと	
	6	振袖着付け - 振袖着付け復習				前回の授業の復習をしておくこと	
	7	振袖着付け - 振袖着付け復習				前回の授業の復習をしておくこと	
	8	帯結び - 振袖着付け復習、帯結び				前回の授業の復習をしておくこと	
	9	帯結び - 振袖着付け復習、帯結び				前回の授業の復習をしておくこと	
	10	前期の復習 - 長襦袢の着付け復習、振袖着付け復習				前回の授業の復習をしておくこと	
	11	振袖着付け実技テスト				実技テストの練習をしておくこと	
	12	振袖着付け実技テスト				実技テストの練習をしておくこと	
	13						
	14						
15							
評価方法	①授業中で実技テストを実施する。②毎時間ごとの作品作りを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品		○	○	◎		50%
	実技テスト		○	○	◎		50%
履修上の注意							

課目名	専門選択（ブライダルスタイリストコース）/スタイリングマップ ^o						
課目名(英)	bridal stylist course Styling Map						
単位数	5単位	時間数	「10時間」/「150時間」	担当者	伊藤久美子		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	ブライダルヘアメイク・講師 StylingMap認定講師		
対象学科・学年	美容科2年生						
授業概要	美容業界ではパーソナル(その人の個人に向けた)スタイリング提案がサービスの差別化の中心となっています。そのパーソナルに向けたスタイリング=完成の提案を論理に基づきお客様だけでなくスタッフ同士での共通言語となるStylingMapを学びます。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					StylingMapの理論を説明することができる。	
		○				スタイリングのカウンセリング力を高め、実践することができる。	
		○				スタイリング提案の基礎を学び、説明することができる。	
				○		スタイリングを言語で伝えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	Styling Map検定テキスト、筆記道具、ハサミ、シャドウパレット、専用ウィッグ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Styling Mapとは？、各種解説、セルフチェック、テイスト確認				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	物の色(分析、解説、ワーク)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	3	人の色(分析、解説、分析目視グループワーク)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	ウィッグデモンストレーション				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5	物の形(分析、解説、ブライダルワーク)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	人の形(分析、解説、分析目視グループワーク)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	物の素材(分析、解説、ブライダルワーク)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	人の素材(分析、解説、分析目視グループワーク)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9	総復習及び検定対策				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	10	筆記テスト				筆記テストを実施するので、復習しておくこと	
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。(4)授業への参加状況(グループワーク発言、提出、居眠り、忘れ物)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記テスト	◎	◎				60%
	小テスト	◎	○				10%
	発表・作品		○		◎		20%
	宿題・レポート	○			◎		10%
履修上の注意	授業内でのワークはノーメイク、カラコンを外すことがあります。						

課目名	専門選択（ブライダルスタイリストコース）/ 接遇						
課目名(英)	Bridal stylist course Introduction						
単位数	5単位	時間数	「3時間」/「150時間」	担当者	中村 直輝		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)		
対象学科・学年	美容科 2年 【選択授業】ブライダルスタイリストコース						
授業概要	実際の結婚式での打合せの流れや関わるスタッフ全般を知る事で、ブライダル業界での美容師及び着付けスタッフの仕事内容や環境の理解を深める。また実際に現場で起きているお客様とのトラブルやクレームなどの実例を知る事で美容スタッフとしての心構えや対処法などを学び就職後に生かす。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ブライダルの知識を深め、挙式・披露宴における美容師の役割を知る。	
	○	○				ウエディングプランナーとの式までの準備の流れを把握する。	
		○				式場におけるお客様と美容師のトラブルなどの実例を知る。	
テキスト・教材 参考図書	・BIA 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 ブライダルコーディネーターテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	結婚式の基礎知識・美容師の仕事内容			前回の授業の復習をしておくこと		
	2	結婚式場・ドレスショップでの打合せ及びトラブル実例と対処法			前回の授業の復習をしておくこと		
	3	結婚式場及びドレスショップ見学(現役スタッフの講話有)			前回の授業の復習をしておくこと		
評価方法	(1)小テストの実施 (2)宿題・レポートを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	○	◎				60%
	小テスト	○	○		◎		40%
履修上の注意							

課目名	専門選択 (メイク・ネイル・エステコース)/メイクアップ/JMA3級							
課目名(英)	make・nail・aesthetic course make up							
単位数	5単位	時間数	30	担当者	重松愛子			
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	雑誌、広告関係、ファッションショー バックステージ、ブライダル現場経験			
対象学科・学年	美容科 2年次							
授業概要	JMAメイクアップ技術検定試験3級100%合格を目指す。 1年次で学んだメイク技術の基礎を基に新たにJMA日本メイクアップ技術検定3級の手技を学び、就職後の即戦力となる技術を身につける。							
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
		○				JMA技術検定試験3級の準備が10分で出来る。		
			○			JMA技術検定試験3級の工程が30分で出来る。		
			○			常に身の回りの環境を整えられる。		
テキスト・教材 参考図書	日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト 2・3級							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1. 2	・教材配布と検定試験説明 JMAについて、公式テキストP1～P7 ・JMA日本メイクアップ技術検定3級実技 ・テーブルセッティング説明 ～実技 (相モデル) P54～58				準備物:メイク道具一式		
	3	・JMA日本メイクアップ技術検定3級内容 ・テーブルセッティング 10分 ・ポイントクレンジング P65～72 ・クレンジング P73～78				準備物:メイク道具一式		
	4	・JMA日本メイクアップ技術検定3級内容 ・テーブルセッティング 10分 ・ポイントクレンジング 5分 ・クレンジング～スキンケア P79～90				準備物:メイク道具一式		
	5～ 7	・JMA日本メイクアップ技術検定3級内容 ・テーブルセッティング10分 ・クレンジング～スキンケア 10分 ・ベースメイクアップP95～110				準備物:メイク道具一式		
	8	・JMA日本メイクアップ技術検定3級内容 ・テーブルセッティング10分 ・クレンジング～スキンケア 10分 ・ベースメイクアップP95～110 ・チーク、ハイライト、ローライト				準備物:メイク道具一式		
	9	・JMA日本メイクアップ技術検定試験3級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技30分)				準備物:メイク道具一式		
	10	・JMA日本メイクアップ技術検定試験3級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技30分) ※添え手、声掛けのチェックと強化				準備物:メイク道具一式		
	11 12	・JMA日本メイクアップ技術検定試験3級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技30分) ※添え手、声掛けのチェックと強化				準備物:メイク道具一式		
	13	・JMA日本メイクアップ技術検定試験3級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技30分) ※添え手、声掛けのチェックと強化				準備物:メイク道具一式		
	14	・JMA日本メイクアップ技術検定試験3級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技30分)実技チェック～フィードバック				準備物:メイク道具一式		
	15	・JMA日本メイクアップ技術検定試験3級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技30分)実技チェック～フィードバック				準備物:メイク道具一式		
	評価方法	(1)授業の中で実技テストを実施する。(2)作品制作の完成度による。(3)所作・道具の手入れなど実技テストの際にテスト項目とする。以上を下記の観点・割合で評価する。 S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		実技テスト			◎			50%
発表・作品				○			40%	
所作・道具の手入れ				○			10%	
履修上の注意	出席が4/5に満たない場合は実技試験の受験資格を与えない。							

課目名	専門選択 (メイク・ネイル・エステコース)/ネイル						
課目名(英)	make・nail・aesthetic course (nail)						
単位数	5単位	時間数	60時間/「150時間	担当者	林 理沙		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	ネイルサロンにてネイリストとして勤務		
対象学科・学年	美容科2年						
授業概要	1年次に習得した基礎技術に加え、イクステンション(人工爪)技術を学ぶ。美しいフォルムを造形するイクステンション技術は如実に技量が出て来ます。根気強く向き合い練習していくことが重要である。この授業ではアクリルなどの化学物質で造形するイクステンション技術を習得し、ネイル検定2級合格を目指す。無駄のないアプリケーションと造形美を意識したフォルムで、感覚ではなく計算した技術力を身に付ける。また、協力してくれるモデルへの感謝心を言葉や態度で表し、手の扱い方と細めな声掛けを行い、気持ちを伝え丁寧な所作を身に付ける。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○			爪の病気とトラブルについて知った上で、対策方法を3つ以上説明できる		
	○	○	○		自爪の長さ、形を理解し、無理のない人工爪を作る技術を身に付ける		
	○	○			時間を意識したお手入れとアートを含めた施術ができる		
		○		サロンで人気のあるデザインを情報収集し、チップや自爪に表現することができる			
テキスト・教材参考図書	JNAテクニカルシステムベーシック JNAテクニカルシステム アドバンス編 JNAネイティブル						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス提示、教材説明、ラベル貼り、テーブルセッティング、ファイル面取り、スティック削り、ネイルケア(プッシュア角度、ニッパーハンドリング確認)			スティック削りが時間内に終わらない場合は宿題		
	2	ファイリングデモ(ラウンドの形を確認) カラーリング(赤&ベージュ) トップコート(ツヤ、量)			前回の授業の復習をしておくこと		
	3	前回の復習 ファイリング&カラーリング相モデル			前回の授業の復習をしておくこと		
	4	ネイルケア(プッシュアについて、プッシュアップ、プッシュバック) ニッパーのハンドリング見直し			前回の授業の復習をしておくこと		
	5	チップラップデモ、実践 (シルクラップの取り扱いと種類)			前回の授業の復習をしておくこと		
	6	カラーリング相モデル (タイムを意識する)			前回の授業の復習をしておくこと		
	7	3Dアート (ミクスチュアの取り方、操作開始のタイミング、造形の仕方)			前回の授業の復習をしておくこと		
	8	3Dアート (ハート、丸花、とんがり花)			前回の授業の復習をしておくこと		
	9	3Dアート (バラ)			前回の授業の復習をしておくこと		
	10	前回の復習 3Dミックスメディア			前回の授業の復習をしておくこと		
	11	3Dミックスメディア			前回の授業の復習をしておくこと		
	12	チップラップデモ、実践 (仕上がり:ハイポイント、ツヤ、バブル)			前回の授業の復習をしておくこと		
	13	チップラップデモ、実践 (仕上がり:ハイポイント、ツヤ、バブル)			前回の授業の復習をしておくこと		
	14	カラーリング相モデル (タイムを意識する)			前回の授業の復習をしておくこと		
	15	通し練習			前回の授業の復習をしておくこと		
	16	通し練習			前回の授業の復習をしておくこと		
	17	小テスト(プレバ、チップラップ、オフ、カラーリング)			前回の授業の復習をしておくこと		
	18	アート決め、全体のバランス、ストーン&ラメの配置を考える			前回の授業の復習をしておくこと		
	19	タイムトライアル			前回の授業の復習をしておくこと		
	20	タイムトライアル			前回の授業の復習をしておくこと		
	21	苦手意識の克服 最終的なクオリティーを確認			前回の授業の復習をしておくこと		
	22	模擬試験			前回の授業の復習をしておくこと		
	23	ジェルネイル 道具確認 筆のチェック アート:1カラー グラデーション			ジェルの道具一式持参		
	24	前回復習、アート(バブル・お花)デモ、実践			前回の授業の復習をしておくこと		
	25	前回復習、アート(お花パターン)デモ、実践			前回の授業の復習をしておくこと		
	26	前回復習、アート(チェック・結晶・ツイード)デモ、実践			前回の授業の復習をしておくこと		
	27	相モデルでデザインを実践			前回の授業の復習をしておくこと		
	28	相モデルでデザインを実践			前回の授業の復習をしておくこと		
	29	実技テスト(ジェル1カラー+3Dアート デザインを2パターン)			前回の授業の復習をしておくこと		
	30	セルフネイル(ハンド&フット)			前回の授業の復習をしておくこと		
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)宿題・レポートを実施する。(3)定期試験(実技)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○		○			50%
	小テスト	○	○	○			40%
	宿題・レポート			○			10%
発表・作品							
履修上の注意	授業では自爪に戻しておくこと ネイルチップ、両面テープを準備しておくこと						

課目名	専門選択 (メイク・ネイル・エステコース)/エステ実習						
課目名(英)	make・nail・aesthetic course Aesthtic						
単位数	5単位	時間数	「30時間」/「150時間」	担当者	菊池佳子		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	エステサロンにエステティシャンとして勤務		
対象学科・学年	美容科2年						
授業概要	フェイシャルの技術の幅を広げ技術を学び、デコルテ、ボディケアの基礎技術を知り理解し身につける。現場において大切な準備・片付けがスムーズにできるようになる。						
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○	○			フェイシャルケアに必要な技術と機器の使用ができる。	
	○	○	○			デコルテ・ボディケアの基礎技術ができる。	
	○					道具、セッティングの準備、片付けがスムーズに出来る。	
テキスト・教材 参考図書	・日本エステティック協会 エステティック技術編Ⅰ・認定エステティシャン、認定ボディエステティシャン(理論・技術編)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1~3	エステティックの基本準備と片付け ・フェイシャル実習① :ディーブクレンジング(粒子なし)、イオン導入			・配布物に自分の名前を記入(タオル以外) ・エステの心を読んでルールを守る(事前にプリント配布) ・持参物の確認をし、忘れない事。		
	4・5	・フェイシャル実習② :デコルテマッサージ、パター			・復習を必ずする事。		
	6・7	・ボディ実習③:背中と足のパック			・復習を必ずする事。		
	8~10	・ボディ実習④:、背中のマッサージ			・復習を必ずする事。		
	11・12	・フェイシャル実習:⑤フェイシャルマッサージ、パック(ピールオフタイプ)			・復習を必ずする事。		
	13・14	・フェイシャル実習:⑥リラクゼーション呼吸法、パック(ODT法=ホット)			・復習を必ずする事。		
	15	技術理論(座学)			・復習を必ずする事。		
評価方法	(1)宿題、レポートは、必ずルールと期日を守る事(該当外は、0点とする) (2)授業は、必ず出席すること。(認定エステティシャン検定の受験資格に関わる) 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	◎					50%
	出席				◎		50%
履修上の注意	※①自身の都合により、デコルテ、体等を見せれない方は、事前にクラス担当、教科担当に相談。臨機応変に対応する。 ※②肌トラブルを含め、何かある時は事前に相談をする。 ※③認定フェイシャル検定の受験希望者は、今から認定フェイシャルエステティシャン理論と技術の試験例題を何度も解いておく。						

課目名	社会教養（就職実務2）						
課目名(英)	Finding employment Practical business2						
単位数	2単位	時間数	16時間	担当者	吉田 荒木 江藤 西依		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務		
対象学科・学年	美容科2年						
授業概要	就職活動に必要な企業情報と共に特徴を知り受験対策を考えさせる。 起承転結を活用した履歴書作成を行ない早期内定を目指す。						
授業形式	講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					求人票・WEBからの企業情報を基に受験までのスケジュールリングが出来る。	
	○					受験にあたり、受験報告書を基に対策を考える事が出来る。	
		○				起承転結を活用した履歴書作成が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	TONI&GUY DVD SARA DVD 履歴書						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	教育提携校TONI&GUYについて			TONI&GUYについて企業リサーチ		
	2				受験に対する心構え、斡旋規定を再確認		
	3	履歴書説明 受験申込書・証明証関係・受験報告書の活用と説明			受験に対する意思表示。必要書類、証明写真の手配		
	4	将来どのような○○になるか 文章に起こし共有			将来をイメージし、身近なものと認識しておく		
	5	履歴書作成 構成・			自分を売り込む為の言い回しを文に起こす		
	6	履歴書作成 下書き			伝えたい部分を明確にし分を組み立てていく		
	7	履歴書作成 添削			起承転結を考え訂正していく		
	8	履歴書作成 清書			受験に対しての準備を行なう		
評価方法	(1)授業後のレポート提出を行なう。 (2)宿題として感想文・レポートを提出を課す場合がある。以上を下記の観点・割合で単位認定をする。 成績評価基準は、R判定とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	○					50%
	発表・作品				○		50%
履修上の注意	特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。						

課目名	社会教養（総合学習2）						
課目名(英)	Synthesis learning2						
単位数	2単位	時間数	16時間	担当者	吉田 荒木 江藤 西依		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務		
対象学科・学年	美容科 2年次						
授業概要	就職内定を目指すためのコミュニケーション力向上、美容師国家資格取得に向けての技術力、知識力向上を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			就職内定を目指す。	
			○			国家資格技術合格レベルを目指す。	
		○				国家資格筆記合格レベルの知識を理解し説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	国家試験対策プリント ターム表 国家試験実技試験用道具						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職に向けて、年間スケジュールの確認 個人目標 健康診断				課題レポート提出	
	2	国家試験 実技 反復練習 苦手克服の実技練習を行なう				居残り実技練習	
	3	国家試験 実技 反復練習 苦手克服の実技練習を行なう				居残り実技練習	
	4	国家試験 実技 反復練習 苦手克服の実技練習を行なう				居残り実技練習	
	5	夏季休暇前事前学習 長期休暇前の諸注意等				課題レポート提出	
	6	国家試験 筆記 事前学習 対策プリントを使用し解答・解説を中心に苦手科目の学習を行なう				課題レポート提出	
	7	国家試験 筆記 事前学習 対策プリントを使用し解答・解説を中心に苦手科目の学習を行なう				課題レポート提出	
	8	国家試験 筆記 事前学習 対策プリントを使用し解答・解説を中心に苦手科目の学習を行なう				課題レポート提出	
評価方法	(1)授業後のレポート提出、実技指導を行なう (2)宿題として感想文・レポートを提出を課す場合がある。以上を下記の観点・割合で単位認定をする。 成績評価基準は、R判定とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	○					80%
	授業態度				○		20%
履修上の注意	特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。						

課目名	GCB II						
課目名(英)	GLOBAL CITIZEN basic II						
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	吉田 荒木 江藤 西依		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務		
対象学科・学年	美容科 2年						
授業概要	社会の変化に対応出来る良識とスキル・知識を備え、常に挑戦する意欲に満ちた専門職として育成し、即戦力として社会に送り出す。世界は自立しながらも互いに協力しながら成り立っている為、恵まれた人生に感謝し、地域国家の発展の為に貢献できる人材であるグローバルシティズンを目指す。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				考えることの大切さを知る(先人の話や自分を取り巻く環境についての具体的な話から、様々な事を考える。)	
	○					自分の言葉で伝える大切さを知る(言語化の作業を沢山行う事でその大切さに気づき、自分の成長を実感する)	
		○				目標の大切さ、志の大切さを知る(目標が定まらなければ、行動できない事を知る)	
				○		行動する大切さに気づく(知行合一、学んだことは行わなければ意味が無い事に気づく)	
テキスト・教材 参考図書	GCBテキスト 視覚教材						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	グローバル シティズンと志 ～志とは何か。どうすれば志を立てる事が出来るのか～				志に関して考えてくる	
	2	なぜ志をたてる事が大切なのか ～世界中の中の日本 日本の私～				第1講話のレポート提出	
	3	自己を知る ～私の過去・現在・未来～				第2講話のレポート提出	
	4	伝える力を学ぶ ～「個」としての伝える力を高める(自分の言葉で自分の思いと考えを伝える)～				第3講話のレポート提出	
	5	伝える力を学ぶ「グループコミュニケーション」 ～勇気と思いやりを持って言葉のキャッチボールを～				第4講話のレポート提出	
	6	与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる。(言葉の力とプロ意識に学ぶ)				第5講話のレポート提出	
	7	自己の大切さと責任を自覚する。				第6講話のレポート提出 スピーチ練習	
	8	GCB IIを受講して、私が感じた事・気づいた事・学んだこと				第7講話のレポート提出	
評価方法	(1) 受講後には毎回レポートを提出する。 (2) 最終授業の中で1人2分間のスピーチを実施する。 (3) 成績評価基準は、出席、レポート、スピーチを加味し(R)認定とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	○					50%
	発表・作品				○		50%
履修上の注意	特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。						